巴里の屋根の下（1930）

SOUS LES TOITS DE PARIS

メディア 映画
ジャンル ロマンス　ドラマ
製作国 フランス
色彩 B&W
時間 75分
初公開日 1931/05
公開情報 三映社
映倫 G

【解説】

クレール最初のトーキーで、その音の使用には目をみはる（？）ものがある（鉄道のガード下の決闘などその効果を最大限に発揮）人情喜劇だ。そして素晴らしいセット（パリの実景は一つも出てこない）。リアルだが、おとぎ話の中の町のように親しみやすい“どこにもない”場所で展開される、男女の素朴な物語……。有名な主題歌はタイトルでは流れず、まず題名通り、雨で濡れるパリの屋根屋根を捉えたカメラが、路地で雨宿りをする若者アルベールとルイを映し出す。その二人の間をレインコートの娘ポーラが通り抜ける暗示的な開幕。彼女を見る二人の視線の交わしようで彼らの関係が如実に分かる。舗道の向かい側で娘を野次る与太者フレドを見せ、さっと最初のシークェンスで主要な登場人物を出し、台詞らしい言葉は喋らせないのは、クレールがトーキーの真意をよく理解している証拠だ。さて、翌日。屋根から降りたカメラが街角の人だかりを捉え、次第に歌声も届く。例のシャンソンが演歌師のアルベールによって披露されているのだ。ポーラの姿もそこにあった。その夜、悪漢フレドに部屋の鍵を奪われたポーラは、夜更けの街で再会したアルベールの部屋に転がり込む。こうして二人は一緒に暮らすようになったが、トラブルに巻き込まれたアルベールは逮捕されてしまう。そしてポーラは、彼が留置所で過ごすうちに、親友ルイと恋に落ちてしまった……。

【クレジット】

監督	ルネ・クレール	Rene Clair
脚本	ルネ・クレール	Rene Clair
撮影	ジョルジュ・ペリナール	Georges Perinal
	ジョルジュ・ローレ	
音楽	ラウル・モレッティ	
	アルマン・ベルナール	Armand Bernard
出演	アルベール・プレジャン	Albert Prejean
	ポーラ・イルリ	Pola Illery
	ガストン・モドー	Gaston Modot
	エドモン・Ｔ・グレヴィル	Edmond T. Greville

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.